様式2

都市再生整備計画　事後評価シート（案）

横手駅周辺地区

令和８年１１月

秋田県横手市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	秋田県	市町村名	横手市	地区名	横手駅周辺地区			面積	122ha
交付期間	令和4年度 ～ 令和8年度	事後評価実施時期	令和8年度	交付対象事業費	2,223百万円	国費率	0.5		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	誘導施設（横手駅東口第二地区市街地再開発事業A棟M階（中2階）～3階）、高次都市施設（横手駅東口第二地区市街地再開発事業A棟1階）、高次都市施設（横手市民会館）、地域生活基盤施設（横手駅東口市営駐車場）、道路改良、道路（電線共同溝）、高質空間形成施設整備（歩行者支援施設（融雪歩道）、緑化施設等（照明施設））
	提案事業	まちづくり活動推進事業（まちづくり組織設置調査研究）、起業・創業支援事業

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業			
	提案事業			
新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設　地域交流センター（市民会館）	市民会館が老朽化しており、施設の更新が必要であったことから、第1回変更にて追加。	影響なし
	提案事業			

			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
交付期間の変更	当　初		
	変　更		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	中心部への来訪頻度	回/週	3	R2	4	R8		3	△	あり	●	横手市生涯学習館Ao-naの整備により、多世代が交流し学び合う拠点が形成された。熊の出没や新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少等から目標値には達しなかったものの、市街地再開発事業が進行中であり、事業完了後には中心部への来訪頻度の向上が期待される。	—
										なし			
指標2	雪対策の満足度	―	2.62	R2	2.88	R8		2.82	△	あり	●	融雪施設の整備により、横手駅東口周辺における冬季の回遊性が向上した。目標値には達していないものの、従前値から改善がみられ、事業効果が一定程度発現している。	—
										なし			
指標3	中心部のにぎわいの満足度	―	2.25	R2	2.88	R8		2.56	△	あり	●	横手駅周辺におけるイベント開催等により、中心市街地のにぎわい創出が図られた。目標値には達していないものの、従前値から改善がみられ、事業効果が一定程度発現している。また、令和8年度のアンケート実施時点では市街地再開発事業が進行中であり、事業完了後には中心部のにぎわいに対する満足度の向上が期待される。	—
										なし			
指標4	中心部の事業所数	事業所	438	H28	438	R8		466	○	あり		起業・創業支援事業の実施により、中心部の事業所数の減少が抑制された。	—
										なし	●		
指標5										あり			
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	中心部の公共施設利用者数	人/年	259,471					635,887			横手市図書館の移転・機能拡充により、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる交流拠点が形成され、中心市街地のにぎわい創出につながった。また、横手市生涯学習館Ao-naは、令和6年2月改定の「横手駅東口新公益施設整備概要及び運営方針」において設定された年間来館者数30万人の目標を上回る利用実績を示しており、当初の想定を超える事業効果が発現している。	—
その他の数値指標2	街なみの魅力の満足度	―	2.43					2.73			道路改良や照明施設の整備により、歩行者の安全性・快適性の向上及び回遊環境の充実が図られた。また、再開発区域を中心としたイベントの開催により、魅力的な駅前空間の形成とにぎわいの創出が図られた。	—
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

・横手市生涯学習館Ao-naについては、中心市街地からの来訪だけでなく、横手市内全域や市外からも多くの来訪者がみられた。
・歩行空間の整備、照明施設の整備により、歩行環境の利便性・安全性が向上した。
・図書館や地域交流センターの整備により、多様な世代が利用する賑わい空間が充実した。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		なし
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
官民連携による取組	横手駅周辺地区のまちづくり活動を担う組織の設立に向けた調査研究	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	民間事業者による調査研究の結果を踏まえ、まちづくり活動を担う組織として、都市再生推進法人を指定した。都市再生推進法人と連携し、まちづくり活動を継続的に実施する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	都市再生推進法人の指定	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生推進法人としての将来的な事業計画の立案や、活動エリアの官民関係者への組織活動の周知徹底に努める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2－2　地区の概要

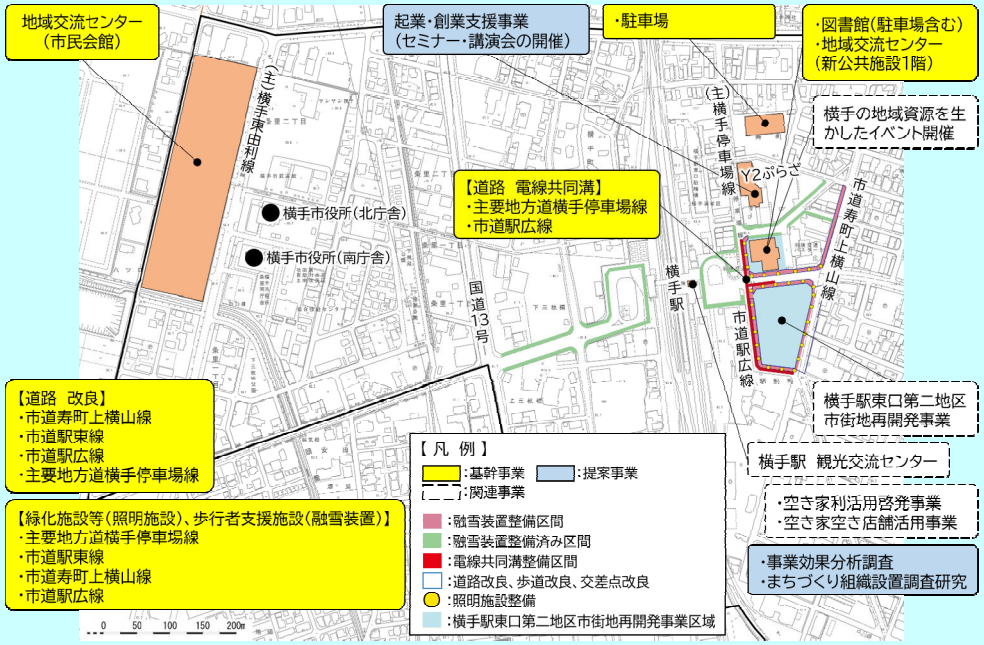
横手駅周辺地区（秋田県横手市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：多様な交流の創出によるにぎわいの再生 【目標1】多様な世代が集まりにぎわうまち 【目標2】若者が挑戦できるまち	中心部への来訪頻度	単位：回/週	3	R2	4	R8	3	R8
	雪対策の満足度	単位：－	2.62	R2	2.88	R8	2.82	R8
	中心部のにぎわいの満足度	単位：－	2.25	R2	2.88	R8	2.56	R8
	中心部の事業所数	単位：事業所	438	H28	438	R8	466	R8
		単位：		H		R		R





歩行者支援施設（融雪施設）
※冬期の写真撮影後追加











まちの課題の変化	【課題の改善状況】 ・横手市生涯学習館Ao-naの整備により、子どもから高齢者まで幅広い年代が集える場が整備され、にぎわい創出が図られた。 ・横手駅周辺でのイベント実施により、横手市の特産品を活かしたにぎわい創出が図られた。 ・市立図書館が更新された。 ・起業・創業支援や空き家空き店舗活用事業の実施により、事業区域内の事業所数減少が抑制された。 ・融雪施設の整備により、雪対策が推進され回遊性の向上が図られた。 【未解決の課題】 ・横手駅西口に残存する空地を有効活用し、にぎわいの創出を図ることが必要である。 ・資材高騰などの情勢により、横手市民会館の整備については未完了である。整備再開に向けた財源の確保や、機運醸成の取組を進めていく必要がある。 ・かまくら館、市役所方面への回遊性の向上が必要である。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	・本事業で整備したハードを活用し、幅広い年代が集えるイベント等のソフト事業を継続実施することで、中心部への来訪機会や満足度のさらなる向上を図る。 ・融雪施設を適切に維持管理するとともに、豪雪時の交通障害が発生しないような除排雪を実施する。 ・起業・創業支援事業の周知強化や、空き店舗活用の情報提供を促進し、雇用・産業の創出を図る。 ・横手駅西口の空き地や公園・緑道等の有効活用や東口イベントとの連携等により、街なみの魅力向上、賑わい創出を図る。 ・市民会館整備に向け、財源の確保や住民の意識醸成、整備予定地の暫定利用を図る。 ・横手駅や横手駅東口第一地区市街地再開発事業区域から、かまくら館、市役所方面への冬期の回遊性向上を図る。